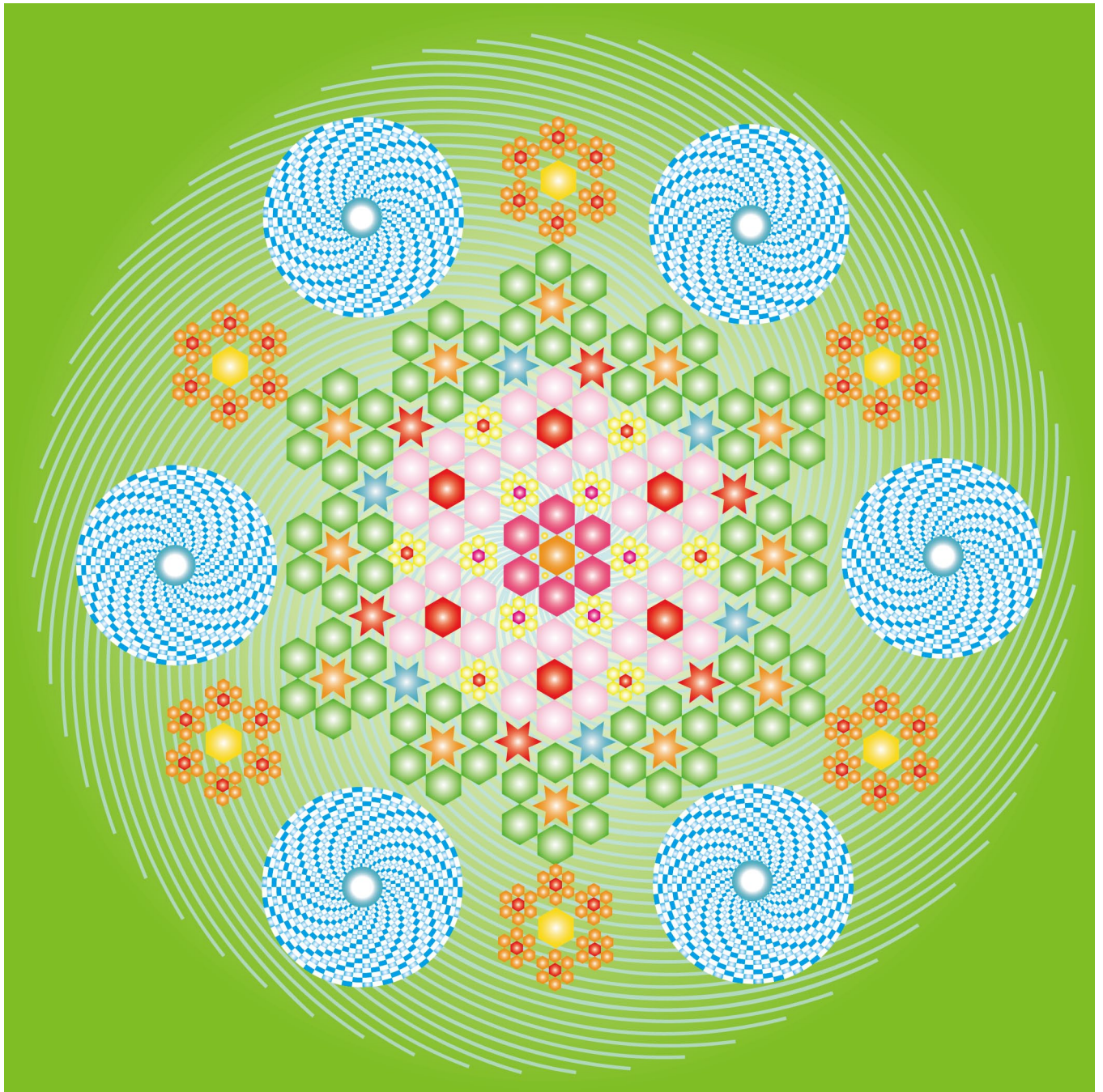


こころとからだと魂を癒すアート「Jupiter」



私たちのこころとからだは、五感を通して、形や色、光、味、香りや音などの情報を取り入れており、その情報が自然の摂理に近ければ近いほど、心地よさを感じるようになってきています。

美しい絵画や音楽、自然の風景に心身が癒されるのはそのためです。

今回紹介させていただく「Jupiter」は幸運、陽気、楽天をイメージする星。

森林の空気振動、虫や鳥の声、そして樹木や風の音。自然とリラクセスできる環境を示す図形です。

本ページを「こころとからだの癒し」にお役立てください

・眺めるだけで、こころとからだに穏やかに癒されます。

・飲みものや食べものを置くと、自然の摂理に近付きからだに馴染み易くなります。

・飾った場所が、パワースポットになります。



研究開発顧問

山梨 浩利

1962年静岡県焼津市に生まれる

1985年中央大学理工学部工業化学科卒業。

大手食品会社で主に食品の研究開発に従事。

数々の商品を世に送り出す。

サトルエネルギー学会、機器検討委員会などにも参画。その活躍は、広く海外にまで広がっている。

現在、山梨事務所を設立し、微生物、発酵、鉱物をテーマにした本物商品の研究や企画開発などを行っている。

H A D O (波動) との出会い

1990年代に「波動」という、聞き慣れない概念がアメリカから入ってきた。

人間の健康状態や食品など、さまざまなことを判断できる分析機械という触れ込みです。

当時、名古屋に本社のある食品メーカーに勤めていた私は、社長がその機械を導入して研究を始めた様子を、どちらかというと冷めた目で見ていました(笑)。

というのも、その機械は科学を学んだ人間なら「こんな機械で測定できるわけがない」と思ってもおかしくないくらい、パソコンに毛の生えた程度のものであったからです。プログラムも通常、商業用には使用しないような初心者向けの言語が使用されており、適切なマニュアルもありません。けつぎよくは誰も使いこなせないまま、研究室の片隅でホコリを被った状態となりました。

ある休日、溜まっていた仕事を片付けようと出勤した私は、仕事がひと段落したところで、ちょっとした興味からその機械で遊んでみることにしました。半日ほど遊んでいると、手に受ける感触がだんだん変わっていくのがわかります。「あれ、これは何だか面白いぞ。」

それから、仕事が早めに片付くとその機械で遊び続けるようになりました(笑)。

ひと月ほど経った頃でしょうか。最初の触れ込みどおり、たしかに人間の健康状態や食べものの善し悪しなどが、とてもよく「当たる」ようになったのです。

気がつけば、社内には所員50人を超える波動医科学総合研究所が開設されていました。

名古屋から東京へ転勤になった私は、東京で波動関係の責任者となり、自社製品や取引先の研究開発、お得意様の健康チェックなどを行うため、この機械と一緒に全国廻りをする日が続きました。体験された方々は「こんなことまでわかつちやうの!? 凄い機械だねえ。」と二様に驚きます。最初は半信半疑だった私も、測定数値が次から次に当たっていくという事実を、体験者と共に受け入れるしかありませんでした。

H A D O とは何か

私たちはふだん五感を通して、色や匂い、味、音、感触といったさまざまなことを感じ取っています。

私が考える H A D O は、これら意識的な感覚に加えて、もっと広い意味で生命体を感じる根源的なことも含みます。

例えば「氣」という概念ですが、私的には、我々が持つ本質と解釈しています。さらに「意識」は、その本質である「氣」を調整し、引き出すための生体情報と考えます。

すると「氣」や「意識」も、広義の H A D O と捉えることができます。

すなわち、H A D O は「生命体を含めた万物が持つ固有のエネルギー」と思っていたらいいでしょう。

機械の構造と測定の仕組み

この「生命体を含めた万物が持つ固有のエネルギー」である H A D O を計測できるというのが波動測定器です。

機械の構造を簡単に説明すると、まずオペレーター(測定者)がプローブと呼ばれるスティックを右手で握ります。プローブからは数ボルト、数十マイクロアンペアの電気が流れていて、それを左手の平に押し当てると電極が繋がりが、音が鳴るようになっていきます。

プローブを押し当てた時の皮膚抵抗の変化によって、共鳴音、非共鳴音と呼ばれる2種類の音が発生し、その音で、物質や健康状態の善し悪しを判断するという仕組みです。

前述したように、この機械は科学を学んだ人間なら「こんな機械で測定できるわけがない」と思ってもおかしくないくらい、パソコンに毛が生えた程度のものでしたが、測定の結果が驚くほどよく「当たる」ので、体験した人は皆、納得してしま

まうのです。

これは、機械自体の構造に、何か別のもの(測定者の意識など)が作用しているのではないかと思われれます。

機械を操作する人間によって数値が異なる場合があるのも、こうした可能性を示唆しています。

正しい測定をおこなうには「測定者の意識」もたいせつな要件であるということです。

どんなことができるのか。

H A D O 測定では、主に次の3つについて知ることができます。

- ① ところとからだの健康チェック
- ② 物体の H A D O 性計測
- ③ 物体同士、人と物体の相性計測

右記を知る方法としては「Oリングテスト」もよく知られていますが、H A D O 測定は、この「Oリングテスト」を数値化したもの、とも言えるでしょう。

すべて意識レベルからの測定ですので、①の健康チェックでは、検査ではまだ現れていない「未病」の段階から数値に反映されてきます。

③を活用すると、今飲んでる薬やサプリメントとの相性、身につけているアクセサリーとの相性なども測定することができます。

H A D O を上手に活用することは、生活の質を高めることに繋がると言えるでしょう。